

## 第5学年〇組 道徳学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

- 1 主題名 男女の協力 高学年2—(3) 信頼・友情  
資料名 『銅メダル』パーティー (光文書院)

### 2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、失敗することがあってもお互いに励まし合ったり許し合ったりしながら活動に取り組んでいる。しかし、男子と女子に別れて反発したり文句の言い合いになったりすることもしばしば見られる。また、学級掲示「ありがとうの花束」には、女子同士のメッセージが多く男女間の「ありがとう」や「すごい」はなかなか見られない。さらに事前に行ったアンケートの結果「男女の協力は大切」と答えた児童が95%、「実際に協力している」と答えた児童は15%であった。このことは男女の協力は大切と思っているのだが、男女の違いを理解した上で認め合い・助け合うまでは高まっていない現われだと思える。

そこで、異性を意識してきたこの時期に、本主題を取り上げ、お互いの違いを理解した上で認め合い・助け合う心情を育てることは意義深いと考える。

- 本主題は、「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。」ことを主なねらいとしている。

男女が互いに認め合うとは、お互いの違いを理解した上で、ともにかけがえのない存在であるという自覚に立って、相手のよさを見つけることである。男女が互いに認め合うことで、欠点を補い合うという協力が生まれ、相手のよさに学ぼうとする態度が養われていく。しかし、現実には反発し合うことが多く、違いを認めた上でお互いに協力するまでには至っていない。

そこで、互いにフォローしながら認め合い・励まし合っていく中で、信頼が生まれるということを考えさせることは大変意義深いと考える。

- 本資料は、主人公正が、サッカー大会の練習や試合を通して、男女がお互いに励まし合うことや協力することの大切さに気付くという話である。

本時指導に当たっては、正の気持ちに視点をあて、サッカー大会の結果は3位なのに「1位」だと思った正の気持ち・満足感に共感させたい。導入では、価値への方向付けをするために、「ありがとうの花束」のメッセージの男女比を提示する。展開1では、正の心情の変化に視点をあてハート図や役割演技を用いて考えさせる。まず、サッカー大会の練習時にうまくいかなかったり、冷やかされたりしている正の気持ちを考える。ここでは言葉の短冊を提示し、ハート図に色を塗らせることで正の心が揺れ動いている心情をとらえさせたい。次に光江が3度チャンスを逃したのにもかかわらず「ドンマイ。この次がんばろう」と言ったときを考える。ここでは役割演技を用いる。児童に光江と正の役をさせ、「ドンマイ」の前後に言葉を入れることによって、正が光江を責めずに励ましていることに気付かせたい。最後に、「結果は3位だったけど得たものは1位」と思った正の気持ちをハート図で考えさせ、正の満足感に共感させたい。展開2では、価値の一般化を図るためにこれまでの生活を振り返り、男子と女子が協力できたことを話し合うことによって、男女の協力について考えさせる。終末では、実際に男女が協力している場面のビデオを見せ、男女協力の大切さについて、意識の継続を図る。

### 3 本時のねらい

男女互いに認め合い、協力したり助け合ったりして、ともに高まろうとする態度を養う。

- 4 本時 平成21年11月25日(水) 第6校時 第5学年〇組教室において

- 5 準備 アンケート結果、道徳ノート、言葉の短冊、挿絵、ハート図、ビデオ

6 展開

	学 習 活 動	教 師 の 支 援
導 入	1 「ありがとうの花束」で男子同士・女子同士の言葉が圧倒的に多いことに気付く、本時のめあてを考える。 めあて 男女お互いに認め合い協力する心について考えよう。	○ 問題意識を持たせるために「ありがとうの花束」のメッセージ内容から男女比を提示する。
展 開 1	2 資料「銅メダルパーティー」を読み、主人公正の気持ちについて考え、話し合う。 (1) 練習の時の正の気持ちを話し合う。 ○ うまくいかない。 ○ 冷やかされていやだ。 ○ 女子が上手にならない。 ○ やる気をなくしそう。 <b>ハート図</b> (2) 1敗1引き分けの時の正の気持ちを話し合う。 ○ 思い切って行こう。 ○ 勝つぞ。 (3) 光江が3回失敗した時の正の気持ちを話し合う。 ○ 気にしないで。 ○ まだまだ、大丈夫。 ○ 勝ち負けだけが目的じゃないよ。	○ 資料の概要をより正確につかむために教師が範読する。 ○ うまくいかないときの正の気持ちに共感させるためにハート図を用いる。 ○ ハート図は、後半の変容と比べるためにノートに書かせておく。 ○ 正さんの気持ちに迫るために「どうしてそのような色のバランスになったのか」を問い、自分の考えを発表させる。  ○ 正の気持ちに迫らせるために、光江が失敗した後、「ドンマイ」の前後に正さんの言葉を入れて児童同士で役割演技をさせる。
	(4) 「得たものは1位」と思った時の正の気持ちを話し合う。 ○ 練習の時はいやなこともあったけどみんなで頑張ったのが嬉しい。 ○ 失敗を責めないで、お互いに励まし合ってきたので気持ちがいい。 ○ 男子と女子が今まで一緒に頑張っていて、協力できたことに満足している。 <b>ハート図</b>	○ 「1位」と思った正の気持ちに共感させるためにハート図を用い、道徳ノートに書き込み話し合う。 ○ ハート図が(1)から変化している児童を中心に指名しその後正の心情の変化を話し合わせる。 ○ 児童が書いた内容を事前に見て、考えが向上する順番で指名発表させる。 (嬉しさ→男女協力)
展 開 2	3 自分の生活を振り返り、男女で協力できたときのことを話し合う。 ○ 自然教室での班活動 ○ 委員会活動での仕事 ○ 体育のチームプレイ	○ 自分の経験を想起しやすいように、考えられる状況の写真を提示し、数人に発表させた後に道徳ノートに書かせ、発表させる。 ○ 男女協力のよさや大切さを実感させるために、男女が協力できたときの気持ちも合わせて発表させる。
終 末	4 教師の話聞く。	○ 男女協力を大切にする意識の継続を図るために、事前に撮っておいた男女が協力している姿をビデオで見せる。